

2018年10月3日

報道関係者各位

住友不動産株式会社

GOOD DESIGN AWARD 2018

～「グッドデザイン賞」16年連続受賞～

**共同住宅「シティハウス目黒ザ・ツイン」・「シティテラス神崎川駅前」・「シティハウス中目黒テラス」
戸建住宅「プレミアム・J 駒沢」・「NEW J・アーバンコート」**

住友不動産株式会社（本社：東京都新宿区西新宿2-4-1、代表取締役社長：仁島浩順）は、財団法人日本デザイン振興会主催の「2018年度グッドデザイン賞」において、下記の5物件を受賞いたしましたのでお知らせします。なお、今回の受賞により弊社は16年連続の受賞となります。



「シティハウス目黒ザ・ツイン」／室内空間

2018年度 受賞物件一覧

- 1. 共同住宅「シティハウス目黒ザ・ツイン」／東京都目黒区**
「脱 nLDK」都心部で広く住む、ミニマルな暮らしの提案
- 2. 共同住宅「シティテラス神崎川駅前」／大阪府大阪市**
地域と共有するエントランス ～街並みに豊かな感性を与える
- 3. 共同住宅「シティハウス中目黒テラス」／東京都目黒区**
外階段にデザイン機能を加え、街並みを整える
- 4. 戸建住宅「プレミアム・J 駒沢」／東京都世田谷区**
街とゆるやかに繋がる ～建物の一部を切り欠くことで生まれた効果
- 5. 戸建住宅「NEW J・アーバンコート」／静岡県浜松市**
街に“間”を介して、大きく開く

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

広報部 TEL：03-3346-1042 担当：村松

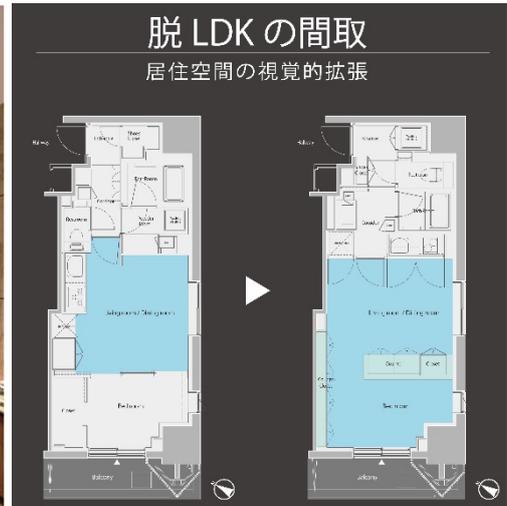
1. 共同住宅「シティハウス目黒ザ・ツイン」(中～大規模集合住宅部門 受賞)

「脱 nLDK」都心部で広く住む、ミニマルな暮らしの提案

都心に住むことを選択した単身あるいは家族世帯のため、都心部のコンパクト住戸であっても広く住むことができる新しい間取りの概念を提案しています。



「シティハウス目黒ザ・ツイン」／室内空間



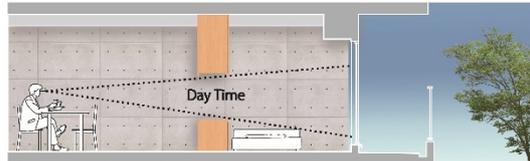
これまでの一般的な LDK の間取りでは、部屋を仕切る壁や各個室に置かれる家具によって部屋はさらに狭く感じてしまっていました。本物件では、視線制御と収納の機能を集約した家具を間仕切りとして設置しています。そして、寝室とリビングの空間を程良く分けながらも、プライベートを確保し、外の景色まで視界が抜けることで、明るく広い住空間を実現しています。

■「シーン」によって異なる空間認識

ベッドルームとリビング空間を分けることなくプライバシーを確保し、リビングでくつろぐ際に、リビングから外の景色まで視線が抜けるように家具によって視線を制御しています。

また、ブラインドを下げれば、適度に囲われたベッドルームが生まれ、落ち着いた空間となります。

【リビング空間】



寝室とリビングを「やわらか」に分け、プライバシーを確保。



【ベッドルーム空間】



ベッドに入ると境界を感じ、落ち着いた空間で熟睡できる。



《審査評価コメント》

ワンルームの住戸に最小限の家具を備え付けるだけのシンプルな提案であるが、それだけに、良く整理されたインテリア空間に、必要にして最小限の仕切りになる家具が、非常に適切な寸法と構成で配置されている様子は、緩やかに日常生活を分節できる様子が創造され、共感が持てる。

■受賞物件 概要

所在地：東京都目黒区

総戸数：160戸 (NORTH 棟：53戸、SOUTH 棟：107戸)

構造・規模：鉄筋コンクリート造 NORTH 棟：地上15階建、SOUTH 棟：地上16階建

竣工年：2018年2月

2. 共同住宅「シティテラス神崎川駅前」 (中～大規模集合住宅部門 受賞)

地域と共有するエントランス ～街並みに豊かな感性を与える



「シティテラス神崎川駅前」／エントランス「クリスタルコリドー」

本物件は、庭とエントランスを街並みに開放することで、居住者のみならず道行く人も空間共有でき、地域の共有財産となる景観作りと、新しいエントランスの在り方を提案しています。

■パブリックアートとしてのエントランス「クリスタルコリドー」

間口を大きくとったガラス貼りのエントランス越しに見える「庭の緑と人の往来による奥行きのある絵画」のような風景はパブリックアートにもなり、ニュートラルな空間を地域と共有することができます。また、こうした感性価値のみならず、敷地周囲の広大な森を地域に開放することで、緑と人が作り出す良好な景観がエントランスの風景と繋がり、相乗効果をもたらします。

■街へ空間を提供



①豊富な緑地
森のように計画した約5,000㎡の緑地



②クリスタルコリドー
間口の大きいガラス張りのエントランス



③夜のクリスタルコリドー
昼とは違う雰囲気を楽しむことができる

《審査評価コメント》

エントランスホールを道に沿ったコリドー状にデザインし、2棟をつないでいるエントランスデザインが秀逸。中庭の駐車場を隠すとともに、道を彩るデザインとなっている。

■受賞物件 概要

所在地 : 大阪府大阪市
総戸数 : 745戸 (1街区 : 411戸、2街区 : 334戸)
構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 地上15階建
竣工年 : 1街区 : 2016年1月、2街区 2017年8月

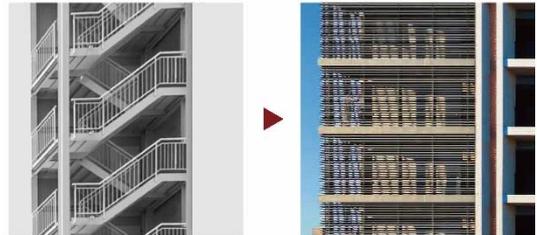
3. 共同住宅「シティハウス中目黒テラス」 (中～大規模集合住宅部門 受賞)

外階段にデザイン機能を加え、街並みを整える



■階段の機能を隠したデザイン

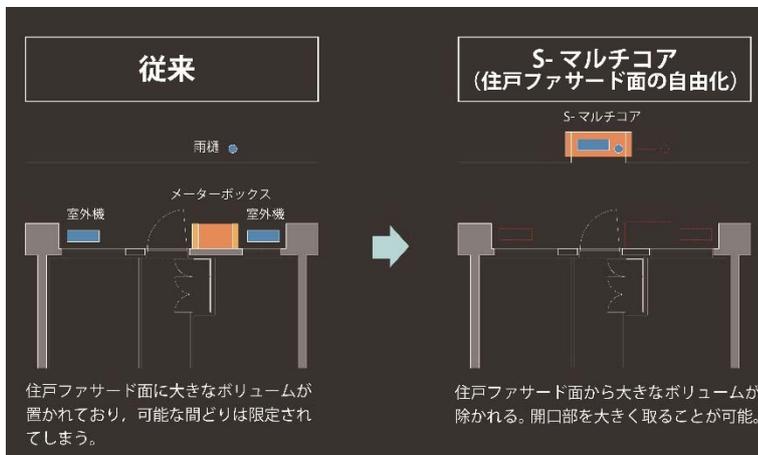
これまで外階段は開放性を確保するために道路側に露出していることが多く、景観を阻害する一因となっていました。本物件は、これまで敬遠されてきた外階段にデザイン機能を加え、ルーバーで覆うことにより、街並みを整えるアクセントとなることを目指しました。



※上記写真は、本提案における外階段を隠した機能を比較しやすくするため、同様デザインの「シティハウス中目黒レジデンス」の外観写真を使用しています。

■「S-マルチコア」採用により、すっきりとした外廊下

また、マンションの外廊下においても室外機やメーター類が美観・快適性のうえで不要素となっており、課題のひとつとされてきました。そこで、室外機やメーター類の設備機器をひとつのシャフトに格納した「S-マルチコア」を採用し、外観と一体化させることで、すっきりとした快適な外廊下を創り出し、居住者同士のコミュニケーション空間を創出しています。



《審査評価コメント》

共同住宅にとっては避けられないエレメントである階段や設備は、美観上決して好ましいものではないが、これらを仕方がないものとせず、デザイン的アイデアで処理をし、美しい外観を作っている。イメージを付加するのではなく、目の前の問題に向きあうことで生まれた外観は、威厳あるシンメトリーの中に、独特の清々しさを纏っている。

■受賞物件 概要

所在地 : 東京都目黒区
総戸数 : 112戸
構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 地上15階建
竣工年 : 2016年12月

4. 戸建住宅「プレミアム・J 駒沢」 (商品化・工業化住宅部門 受賞)

街とゆるやかに繋がる ～建物の一部を切り欠くことで生まれた効果

近年、多くの人が利便性を求めて都市に住むという選択をしますが、都市の過密さゆえに、外部を遮蔽した生活となり、ストレスを溜める要因となっています。

この住宅では、建物の一部を切り欠くことにより、通常1階にある庭先を2階に持ち上げることで、セキュリティを確保しつつ開放的で、常に自然を感じることができる「第2のリビング」を提供し、多様な効果を生み出しています。



「プレミアム・J 駒沢」/外観



「第2のリビング」となる半外空間

また、「第2のリビング」を広々とした大屋根で覆うことにより、ひとつの空間として建物に一体性を持たせた半外空間とすることで、外部空間の魅力を最大限に引き出した“オープンな都市型住宅”を実現しています。

■建物の一部を切り欠くことが創り出す4つの大きな効果

<p>① セキュリティを保ちつつ街と柔らかに融合</p> <p>2Fに庭先を持ち上げ、セキュリティを確保しつつ開放的な生活の場を提供。</p>	<p>庭先を持ち上げる</p> <p>庭</p> <p>2F</p> <p>1F</p>	<p>② 違った景色の提供</p> <p>葺(いらか)</p> <p>都市の中でも屋根の上から景色や空を独り占め出来る空間「葺(いらか)」を提案。</p>	<p>葺の上から顔を出す</p>
<p>③ 街へ木質感を提供し、やすらぎを演出</p> <p>道路から見上げた建物の表情に木目を多く採用。街に木質感を提供し、安らぎを与えた。</p>	<p>木で空を演出</p>	<p>④ 大きな屋根を創るためのバルコニー</p> <p>大きな屋根をつくる</p> <p>吹上</p> <p>自重</p> <p>大屋根が吹き上がる力をバルコニーの荷重で支えるダイナミックな構造形式をデザイン。</p>	

《審査評価コメント》

3階にかかる大屋根が、2階のリビングダイニングから続く巨大なバルコニーを覆うことで、外部空間を最大限活用することを意図しているところが評価できる。ファサード面の中心には、四方を大型の額縁で囲った吹き抜け上部のハイサイド窓を配置し、「外部と内部をつなぐトンネル」のような大胆なデザインであしらっているところが何とも心憎い。

■受賞物件 概要

所在地 : 東京都世田谷区
階数 : 地上3階建
構造 : 木造

5. 戸建住宅「NEW J・アーバンコート」 (商品化・工業化住宅 受賞)

街に“間”を介して、大きく開く

■都市にいながら外に思い切り開く

現代の住宅はプライバシーを重視しており、家の中から地域の人々とコミュニケーションを取るのには難しい環境が多く見受けられます。そこで、2階に内と外が一体化した“半外バルコニー”を作ること



「NEW J・アーバンコート」／外観

で、通りすがりの人に気軽に声が掛けられるようにし、街と住まい手の気配を重ね、「心地良く繋がる」場所を目指しました。



“半外バルコニー”から声を掛ける様子

■住宅のプライベートエリアと街を繋ぐ“間(ま)”

住宅の“半外バルコニー”“中庭”“ルーフバルコニー”の3つのエリアを外に開くことにより、都市にいながら、より豊かで開放感のある住環境を演出することを可能にしました。特に、中庭は道路に繋がっており、街に対しても景観の一部としてその姿を提供しています。



街に開かれた“中庭”

《審査評価コメント》

都市部の住宅には、断熱性や防火性・防犯性などの守りを固めつつも、街や外部環境とどう向き合っていくかが問われるが、ここでは、2階の大型バルコニー全体を大きな底で囲い、かつその前面をガラスで覆ってしまうという大胆なデザインにより、屋外を積極的に取り込みつつ、ファサードを街に開いていこうとする意思が強く感じられるところを評価したい。

■受賞物件 概要

所在地：静岡県浜松市
階数：地上2階建
構造：木造